

第24回 東京大学教養学部室内楽演奏会

伊藤悠貴のチエロによる ドイツ・リート・リサイタル

若手チェリストのホープ伊藤悠貴とハープによる
ドイツ・リートへの調べ



©T. Tairadate

2022年
11/11(金)

19:00(18:30開場)

Friday, 11 November, 2022 19:00 (Doors open at 18:30)

東京大学教養学部
コミュニケーションプラザ
北館 音楽実習室

College of Arts and Sciences,
The University of Tokyo Music Practice Room,
Komaba Communication Plaza

入場無料

(先着70名
うち東大駒場友の会10名)

東京大学の学生・教職員・
東大駒場友の会会員・会友限定(同伴不可)

[曲目]

H.イザーク

「インスブルックよ、さようなら」

J.S.バッハ

「甘き死よ来たれ」BWV478

W.A.モーツァルト

「すみれ」K476

L.v.ベートーヴェン

「優しき愛」WoO.123

C.レーヴェ

「春」Op.107-3

F.シューベルト

「楽に寄す」D547

F.メンデルスゾーン

「歌の翼に乗せて」Op.34-2

R.シューマン

「蓮の花」Op.25-7

R.ワグナー

「夢」WWV91-5

C.シューマン

「私はあなたの瞳に」Op.13-5

J.ブラームス

「二人そぞろ歩く」Op.96-2

H.ヴォルフ

「竖琴弾きの歌I」D478

G.マーラー

「私はこの世に捨てられて」

R.シュトラウス

「献呈」Op.10-1

M.レーガー

「森のしあわせ」Op.62-2



[出演] 伊藤悠貴(vc) /

中村愛(hrp) / 荒井喜矩(お話)

[主催] 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピア/委員会 / 東京大学芸術創造連携研究機構(ACUT) [共催] 東大駒場友の会

[参加申し込み] ▶ 東京大学の学生・教職員 ▲ 東大駒場友の会会員・会友限定 ▲





©Charlotte Fielding

伊藤悠貴 (チェロ)

15歳で渡英。王立音楽大学在学中、ブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝し、名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。これまでに国内外の主要オーケストラと共演を重ね、ロンドンのウィグモア・ホールをはじめとする世界各地でのリサイタルを通して、生涯の研究対象であるラフマニノフ作品、イギリス音楽作品の普及に献身。小澤征爾氏のために行われた特別演奏会での独奏や、V.アシュケナージ、J.ロイド・ウェバー、J.ド・メイ、X.ドゥ・メストレ、S.ザハーロワの各氏など多分野にわたる世界的アーティストとの共演も数多い。2019年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



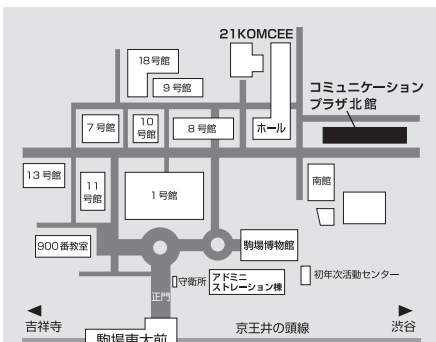
中村愛 (ハープ)

これまでにソリストとして精力的な演奏活動を展開し、2022年にはフォーレ「レクイエム」チェロ&ハープ版全曲をはじめとした自身の編曲作品のほか、ヴァトー、ヴェルレーヌとの関連性にも言及したオール・フォーレ・リサイタル(浜離宮朝日ホール主催)を開催。その他、シューマン、コンスタブル、ターナー、ユゴーをはじめとするロマン主義、ドビュッシー、ラファエル前派、ポーなど象徴主義の音楽・絵画・文学の関連性を研究対象とし、東邦音楽大学エクステンションセンター他で演奏会形式を用いた講義を行う。アルバムはキングインターナショナルより3枚リリース。インターネットラジオOTTAVAプレゼンター。



荒井喜矩 (お話)

絵画研究家。2022年12月～2023年1月開催の東京・丸紅ギャラリー「ボッティチェリ《美しきシメネッタ》特別展」公式タイアップ・コンサート企画・司会進行をはじめ、これまでに東邦音楽大学エクステンションセンター講師として「印象主義と芸術のかたち」「英国絵画とロマン主義」などをテーマに講義を行う。主な研究対象はC.ピサロを中心とした絵画とF.ディーリアスなどの音楽との関連性を基にした、印象主義芸術に於ける精神性の追求と発掘である。インターネットラジオ局OTTAVA「荒井喜矩の印象探求」パーソナリティ。



11/11fri.19:00

東京大学教養学部
コミュニケーションプラザ北館 音楽実習室
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
(井の頭線 駒場東大前駅下車)

伊藤悠貴の
チェロによる
ドイツ・リート・リサイタル